

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	平井 祐介 (独) 工業所有権情報・研修館(INPIT) 知財活用支援センター知財戦略部 (独) 製品評価技術基盤機構(NITE)から出向)
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	<p>私が日本リスク研究学会誌を読み始めたのは、学生時代に中西準子先生の講義を聴講した翌年の 1998 年からと、当学会のファン歴は長いです。これまでお世話になっている学会に貢献すべき歳になったと思ったことが立候補の第一の理由です。</p> <p>また、私は、主に「規制」に「研究」成果(科学的知見)を取り込むという行政の仕事をして参りました。そのため、当学会だけでなく、環境化学会、日本毒性学会、安全工学会、環境法政策学会といった様々な学会で知見を収集し、様々な形で研究に携わっている方々とお会いするという、研究者の方とは異なる学会への関わり方をしてきています。私のような、自らは研究をせず、行政に携わってきた者の経験は、規程類の整備といったオーソドックスな貢献だけでなく、より多様な観点も提供できるのではないかと考えたことが第二の理由です。</p> <p>抱負としては、新しい試みを多くしている現行の体制を失速させることなく、「新しいリスクを見つける」という活動を新たに検討したいと考えています。そのために、中長期的な将来社会におけるリスクを当学会で考えていく/共有していく環境づくり、特に賛助会員との関係性構築を検討したいです。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
② 本学会における 活動歴	<p>2010 年度日本リスク研究学会第 23 回年次大会 若手ワークショップ開催 第 1~4 期 (2013 年~) レギュラトリーサイエンス TG 代表 (他 4 名との共同代表)</p> <p>2016 年度 学会奨励賞</p> <p>2019 年 リスク学辞典 工業化学物質のリスク規制 (1)(2) 執筆 (井上知也氏、藤井健吉氏と共著)</p> <p>第 17、18 期 (2020 年~) 編集委員</p>
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	<p>2002~2016 年 NITE 化学物質管理センター</p> <p>2008~2016 年 OECD 化学品合同会合曝露評価タスクフォースメンバー</p> <p>2016~2018 年 経済産業省資源エネルギー庁</p> <p>2018~2020 年 経済産業省商務情報政策局産業保安グループ</p> <p>2020~2022 年 NITE 企画管理部</p> <p>2022 年~ 現職</p>

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	平井 祐介氏
----------------	--------

② 推薦者の 姓名と所属	藤井 健吉 花王株式会社研究戦略部門研究主幹/研究戦略・企画部部長
③ 推薦理由 (400 字程度)	<p>平井氏は、行政機関においてリスク学に深い見識をもつ探求者として当学会で広く知られており、化学物質管理政策、OECD 曝露評価 TF、風力発電などの資源エネルギー行政、産業保安政策、知財戦略などの広範な経済産業政策にご活躍なされています。直近の論文では、日本の化学物質管理関連法制度間における環境リスク評価の比較と課題を示し、産業政策に必要とされる幅広い視野を示されました。リスク学会年次大会では、「基準値のからくりシリーズ」等の企画セッション座長としてもお馴染みで、レギュラトリーサイエンスを駆使して、行政視点の課題提示から自動運転のリスクガバナンスまで、「リスクを見つける」「リスクを的確に管理する」「リスクを啓蒙する」といった議論の場づくりに貢献しておられます。</p> <p>リスク課題を実学化する広域な興味（好奇心）、人と人を繋ぐネットワーク、行政官としての経験、規程整備等の実務家の側面を有する平井氏は、当学会における重要な存在です。リスク学会の多様性ある発展のために、平井氏を理事として心より推薦いたします。</p>